

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成 28 年度第 1 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事 務 局 (担 当 課)		小金井市ごみ対策課		
開 催 日 時		平成 28 年 6 月 28 日 (火) 午後 6 時から午後 8 時まで		
開 催 場 所		小金井市役所第 2 庁舎 801 会議室		
出 席 者	委 員	<出席者：11 名> 渡辺会長・大江副会長・岡山委員・加藤委員・降旗委員・清水委員・ 多田岳人委員・多田典子委員・北澤委員・勝又委員・鶴田委員<欠席 者：2 名>		
	事 務 局	柿崎環境部長・小野ごみ対策課長・藤田ごみ処理施設担当課長・石阪 中間処理場担当課長・富田・穂山・立川・佐藤・玉井		
傍聴者の可否		可	傍 聴 者 数	0
会 議 次 第		1 開 会 2 報 告 平成 27 年度ごみ処理量及び資源物回収量 燃やすごみの処理量の昨年度との月別比較について 平成 27 及び 28 年度 可燃ごみ処理の支援状況について 3 議 題 平成 27 年度施策の実績報告について		
会 議 結 果		別紙審議経過のとおり		
提 出 資 料		別添のとおり		
そ の 他				

審議過程（主な発言等）

渡辺会長	平成28年度第1回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。本日は、豊田委員と波多野委員から欠席の連絡が入っている。 今日は、環境部長が出席しているので、挨拶をお願いしたい。
柿崎環境部長	(挨拶)
小野ごみ対策課長	環境部長は、所用のため退席させて頂く。 (環境部長退席)
渡辺会長	それでは、事務局に配布資料の確認をお願いしたい。
富田減量推進係長	(資料確認)
渡辺会長	それでは、事務局に資料の説明をお願いしたい。
富田減量推進係長・藤田 ごみ処理施設担当課長	(資料説明)
藤田ごみ処理施設担当 課長	(新可燃ごみ処理施設に関して報告)
渡辺会長	何か質問はあるか。
多田岳人委員	事業系のごみ処理手数料は幾らになったのか。
小野ごみ対策課長	3市で協議中である。
加藤委員	5月31日に都民の意見を聴く会があったので傍聴した。日野市からは19名、国分寺市からは2名の市民が意見表明したが、小金井市からはゼロだった。この件について、市民に周知すべきだ。
藤田ごみ処理施設担当 課長	お知らせすべきことは、市報やホームページで対応をさせていただいている。
大江副会長	私は、都民の意見を聴く会については知らなかった。そういう機会があるのならば、出来るだけ広報しては如何か。
藤田ごみ処理施設担当 課長	都民の意見を聴く会に関しては、市報でお知らせしたが、市外の審議会委員の方にはお知らせしていなかった。今後はこのようなことがないようにしたい。
大江副会長	市報に載ったとしても、審議会委員には、改めて知らせてほしい。

審議過程（主な発言等）

藤田ごみ処理施設担当課長	<p>今後は配慮していきたい。</p>
加藤委員	<p>環境影響評価の冊子は、ごみ対策課のカウンターには置いてあるが他にはない。日野市には各公民館全てに置いてあるし、国分寺市では、公民館でなくても置いてある。改善をお願いしたい。</p>
藤田ごみ処理施設担当課長	<p>情報提供については、東京都の環境影響評価の条例に基づいた手続きを行っている。</p> <p>本来、小金井市は対象地域ではないため、日野市・国立市・府中市・多摩市が対象地域になるが、国分寺市と小金井市は構成市ということで、閲覧という形で対応させて頂いている。</p> <p>（ごみ処理施設担当課長退席）</p>
小野ごみ対策課長	<p>（平成27年度施策の実績報告について説明）</p>
渡辺会長	<p>それでは、施策の実績報告について、実施しての感想、実施方法、活用方法、どのように公開するか、皆様のご意見を伺いたい。また、今日で今期最後になるので、皆さん一人ずつ5分程度で挨拶をお願いしたい。</p>
大江副会長	<p>P D C A サイクルを回すのは思った以上に難しかった。取り組み内容あるいは計画内容が施策と一致していないような部分について、どう評価したら良いのかというところで辛めの評価になった。特に有効性を判断する時には、どこに対しての有効性なのか、施策に対しての有効性なのか等悩ましかった。計画を立てるときに、評価まで視野に入れて見ておけるかが重要で、これからは、そのチェックの精度を上げていくべきだろうと思った。</p> <p>また、施策が網羅的で沢山あるので時間もかかり、取り組みのばらつきが大きい。施策に優先順位を付ければもっと評価し易くなると思う。初めての試みとしては、施策のチェックを含めて、P D C A を良くしていこうという試みは大変な努力だと思うので、継続的に中身を濃くしていく議論が出来たらと思う。</p>
加藤委員	<p>大変な作業であったが、最初の取り組みとしては評価したい。生ごみ処理機についてなど、まだまだ課題があると思う。</p>
降旗委員	<p>この資料は大変良くまとめられていると思う。どんな小さな問題でも推進・改善・継続を進めていけば、やがては目的に達成するのではないかと思う。口だけでなく、行動することが大切だ。</p>
清水委員	<p>審議会委員としての印象ではなく、一般感覚的な取り上げ方をベースにして取り組み内容の評価値を入れさせて頂いた。審議会委員として理解していても、一般の人がどれだけ理解出来ているかといえば難しいところが</p>

審議過程（主な発言等）

多田岳人委員	<p>ある。評価は難しいが、私なりに考えた方法である。</p> <p>一つ一つを考えるのも時間がかかる。文言も含めて抽象的だと思う。項目は羅列しているが、もう少し集約しても良いのではないかと思った。</p>
多田典子委員	<p>自分達が評価に関わって、他の人と違う評価が出れば、そこが課題だったのかなど、色々な事が分かった。</p>
鶴田委員	<p>評価は非常に難しかった。特に、項目の2番3番以降について、情報があまりなく、評価不能となってしまった。情報を深堀していけば、次回はもっときちんとした評価が出来るのではないか。施策の有効性を言っているのか、実施した結果に対する有効性を評価すれば良いのか悩ましく、次回の反省にすればとても良いものになるのではないか。また、こういった活動をしていることは市民にオープンにしていくべきだと思う。</p>
勝又委員	<p>とても細かく分類されていて、どのように評価するのか頭を抱えた。身近なところなら分かるのだが、大きく問い掛けられると私は把握が難しかった。</p>
北澤委員	<p>私も悩んだ。取り組み内容と施策の関連性が薄い。施策があり過ぎて、全部やらないと評価出来ないのかということそうではない。施策自体にもっと重み付けをすとか、集中し絞ってやらないと難しい。やることはやったが、それが効いたかどうか分からない。施策の進捗はどうなったのか、効率性では、どういうことでこれがBになったのか、少し入れて頂ければ、これは、お金も人も掛けたけれど、難しいのかと分かる。もっときめ細かくやって貰えば、取り組み内容の評価にも役に立つと思う。施策が多過ぎるので、もっと絞り、重み付けをしないと評価は難しいと思った。</p>
岡山委員	<p>40点以上と25点以下のものを見てみると面白いことが分かった。</p> <p>1 発生抑制を最優先とした3Rの推進の2リユースの促進の(3)リユース食器の有効活用は42点付いているので、リユース食器は施策としてうまくいっているという事がわかる。</p> <p>次に3分別の徹底の(1)組成分析の実施は40点以上付いている。ここで面白いのは、組成分析は対応する施策が組成分析ただ一つだ。しかし、次の(2)正しい分別方法の周知は、対応する施策がこれだけ多く入っていて、評価はそれほど高くはないが、施策としては重要だというように施策の有効性のところが41点付いている。</p> <p>5 啓発活動の強化の(1)広報媒体を活用した啓発活動の強化は、43点と高得点であり、施策の有効性としても41点だ。ここは、評価されていることが分かるが、5 啓発活動の強化と1-1ごみを出さないライフスタイルの推進は、市民に対して、こう変わって下さいと周知徹底することになるものなので、施策が重複する。</p> <p>6 環境教育・環境学習の推進は24点と非常に低い。3点に集中し、学校のカリキュラムなので、市がどうこうしなくても学校がやるだろうとい</p>

<p>渡辺会長</p>	<p>うイメージだと思う。</p> <p>8 拡大生産者責任の追及は15、16点と低く、分からないから評価不能になる。ここは、市が施策としてやらなくてはならないから追求しようとしているが、事業者に分って貰っていない。だから、逆にここは強化したほうが良いのではないかな。</p> <p>9 事業活動における3Rの推進も点数が低い。事業者相手の部分は、市民には直接関係がないので、低くなる傾向があるのではないかな。(2)事業系ごみの発生抑制の推進は22点、(4)事業用大規模建築物の所有者に対する立入指導の実施も22点。ところが、施策の有効性は高得点だ。つまり、有効だということが分っているが、市民の立場で評価することが難しい項目だということが分る。</p> <p>10 市施設における3Rの推進あたりから、市民には関係がなくなってくる。2 安心・安全・安定的な適正処理の推進、3 廃棄物処理を支える体制の確立は、市の施策そのものであり、評価不能も増えるし、市民としては、評価しづらい。</p> <p>2の2 可燃ごみの共同処理に向けた整備は、高得点で高評価ではあるが、廃棄物関連施設に関しては市に任せるしかない。重要なのは分っているが評価しづらい。市が進めているものは、評価が低いわけではない。施策としては有効である。</p> <p>5 計画の実効性を高める仕組みの2 ごみ処理コストの検証(1)一般廃棄物処理事業に係るコスト管理と情報公開は41点で有効性は43点だ。コスト管理と情報公開は重要で、且つ市は良くやっているという評価になっている。しかし、環境基金については聞いたことがないし、よく分らない。</p> <p>比較的私たちの気持ちが良いと現れている。これから先、どう整理するかとか、どこに重点シフトしていくかとかを決めるにあたっては、割合良い評価が出来たのではないかなと思う。</p> <p>皆さん、大変だったというご意見が多かった。施策の実績報告を審議会で考えているときには、これだけの分量になるというのが見えていなかったという部分が若干あったと感じている。また、評価段階は5段階で適当だったと思う。3段階では、1や3が付けにくいし、10段階では、集計が大変だったと思う。市がやっていることを網羅し評価することで、何をやっているのかを見渡す良い機会になったと思う。ただ、分量が多いので、網羅しつつ、もう少し簡単に出来る方法を考えて行きたい。また、岡山委員が解説して頂いたが、結局合計点の低いところが目を付けるべきだろうと思う。しかし、評価不能が多いから合計点が低いのか、皆の評価が低いから合計点が低いのか、それによって対応が変わってくる。私としては、合計点ではなく、平均点で表示したほうが分かり易いのではないかなと思う。評価不能が多いところは、委員の皆さんにも何をやっているのかうまく伝わっていなかったところで、いわんや市民はという感じだ。逆に平均点が低いということは、評価として低いということで改善をしていかなければならない。どこに力を入れるかということが変わってくる。進捗と有効性ということで、2項目で評価するということで分りづらいということがあったかも知れないが、岡山委員の発言にあったように施策のライン</p>
-------------	--

審議過程（主な発言等）

<p>加藤委員</p>	<p>アップとしては、これで良いという評価だが、評価しにくいとか、きちんとやっていないのではないかとかで、進捗のほうで低くなる場所も見られているので、こういう形で二つの指標からというのは良かったと思う。また、どのように公開するのかというところも、やったことを示すことはとても重要だが、やったことが何を意味するのか、分るような形でどう出したら良いのか、悩ましいところだ。</p> <p>自由記入に関しては、非常に多いので公表のしようがないかと思う。結局、点の部分の評価ということになると思う。こんな風に出してはどうかとか、これは誤解を招くので出さないほうが良いのではないかと、何かご意見はあるか。</p> <p>公表するかしないか、公表するに当たってはどのように整理するかしないのか、ということがあると思う。私は、公表すべきだと思う。他市では、廃棄物会計もあまりやってなくて比較出来ないところもある。小金井市は早い時期からやっていたので、年度的な経過も良く分る。これも先駆的な取り組みかと思う。公表の仕方については検討すべきだ。</p>
<p>岡山委員</p>	<p>今、会長が平均でということだったので平均を見てみた。1-1と1-2はかなりの高評価になって来る。1-1は最初が3.763、他は4点台だ。リユースはかなり高い。市は、比較的辛めの評価をつけているが、委員のほうは、よくやっているのではないかと評価になっている部分もあるし、その逆もある。どの程度の人がきちんと見てくれるかは分からないが、公開すること自体は悪くはないのではないかと。</p>
<p>大江副会長</p>	<p>私は、事務局の自己評価はかなり甘めだと思う。目標値を数値化出来ているものを達成出来ていたら全部Aだ。随時のところも自由に評価出来るので、それだけの視点から見ているので甘いと思う。効率性のところで大きくCが付いている。逆に学習の問題のように回数が達しなかったところは、達成度がいつもCになっているので、これは評価の仕方としてはいかがかというところがある。</p>
<p>岡山委員</p>	<p>見比べて貰うと面白いのではないかと。</p>
<p>大江副会長</p>	<p>見比べるという意味では、コメントを出さないと分からないのではないかと。市民の見る人が見たとしても、多様な意見があって色々悩んで評価したのが伝わるのではないかと。公表は賛成だが、果たしてどの位見て貰える形になっているのかが問題だ。</p>
<p>清水委員</p>	<p>公表するかしないかに関してだが、我々委員は、計画項目の取り組み内容のところ主に意見を出した。市の担当者は各施策の評価を出しているから、元々ずれている。全部出すか出さないか分からないと思う。全部出す意味があるのかと言えば、敢えて無理に今回公表しなくても良いのではないかと考えている。</p>

審議過程（主な発言等）

渡辺会長	審議会で廃棄物処理計画に照らし合わせて、取り組み内容がどうであったかについて評価が行われたというのは、何らかの形で出しても良いのではないかと。具体的な数値を出すのかどうかという問題だと思う。
加藤委員	ごみゼロ化推進会議では、このことについて今日の役員会でも皆さんに見せたし、また、啓発部会でも見せようと思っている。ごみに関心のある市民はこれをよく見ると思う。
渡辺会長	公表の仕方だけでなく、今後、これをどう活かしていくかについてご意見はあるか。
小野ごみ対策課長	次期審議会委員の方々には、今期委員の方々からの評価を資料として提出するつもりだ。29年度以降の実施計画や3年後の基本計画の見直しの際にも参考になると思う。
渡辺会長	次期処理計画作成や基本計画見直しの時にどう活かせるかだ。自己評価全般に関して、他に何かご意見等はないか。
岡山委員	従来どおり、市の自己評価だけ出すのか、見る人がいるかどうかは別に、今回折角やったのだから、全部出すのかの判断になる。
北澤委員	情報公開という観点から、審議会の活動の一環としてコメントを含めて評価を全部公開したほうが良いと思う。市民から色々な意見があるかも知れないが、これが我々の評価の結果でもあるので示したほうが良い。
岡山委員	審議会の議事録も公表される。
加藤委員	基本計画の中でPDCAをということで、それが実行に移された形だ。第1回なのでこれから見易く、分り易く、精査されると思う。だから、皆さんに全部見せても良いのではないかと思う。次期委員の方々や関係者がこれを参考にして良い物を作って頂きたい。
渡辺会長	清水委員としては、これを見て意図しない方向に解釈されると困ると懸念されているのではないかと。
清水委員	評価不能が多い項目がそのまま出るというのは、審議会委員は基本計画内容そのものを理解していないのではないのかということに繋がりがねない。点数の部分のようにダイレクトに値を出すのは好ましくないと思う。コメントは、皆さんが考えた上でのものだが、羅列的に全部挙げるのか、それともピックアップするのか、どちらが良いか私には判断しかねる。コメントについては、出しても良いと思う。
渡辺会長	今の段階では、取り組み内容ごとに数値が出ているが、例えば、計画項目ごとにまとめてこんな平均点だったという形で出すのは如何か。

審議過程（主な発言等）

清水委員	評価不能を消して、平均点で出せば一つの指標として良いのかも知れない。
大江副会長	私も進捗度や有効性に対する評価不能ではなく、計画項目に対して施策が対応しているかどうかが見えないので、評価不能を付けたものが結構ある。審議会委員は何をしていたのかと問われるような評価不能の付け方ではないので、出しても問題がないような気がする。しかし、見て分かり易くするには、項目毎に平均点というのも良い手かも知れない。コメントとして評価についてひと言付けると良い。
岡山委員	評価不能というのは、ネガティブな意味で付けた訳ではなくて、成績表ではないので、恐らく判断しかねることが多々あるだろうという判断の元で、この項目を付け加えた。そういうことを注釈で付けては如何か。コメントの欄では、その旨を書かれているところがある。よって、全部出すのであれば、誤解は生まれないのではないかと。
多田岳人委員	15点から43点までを点数別に並べると分かり易くなるのではないかと。また、評価不能が3つ以上の項目だけ公表するとか。そうすれば、審議会委員としては、30点台とか40点台とかに重きが置かれていたことが分る。
富田減量推進係長	コメント欄だが、自由記入で、公表を前提としてお願いしていなかったため、忌憚なく書いて頂いているので、今回そのまま報告させて頂いたほうが良いだろうと思った。そのため、誤植の部分以外は書き換えたり、修正していないので、皆さん自身の言葉になっている。そこで、公表することに関して皆さんの気持ちに沿うかどうかを確認して頂きたい。
小野ごみ対策課長	私どもとしては、公表するのであれば公表させて頂きたいのだが、コメント欄についてこのままで良いのか、良くないのか、本日はまともらないと思うので、日にちを区切って、こういう書き方に訂正して欲しいという方がいれば受け付けたほうが良いのではないかと。内容によっては、立場がわかってしまう方もいる。
渡辺会長	それでは、基本は忠実に公開するという路線で良いか。
多田岳人委員	点数でいくのか、平均でいくのか決めておいたほうが良いのではないかと。
岡山委員	平均を追加すればよいのではないかと。
富田減量推進係長	全員で13人、反映出来ていない方が2人、評価を辞退した方が1人。辞退した方は評価不能にした。

審議過程（主な発言等）

小野ごみ対策課長	<p>辞退した方の思いとしては、審議会委員を2年間務めた中で、評価が出来ないということなので、私どもが評価不能に加えた。未提出の1人について、公表する場合は、扱いをご本人には確認する。評価を載せる考えがあるのならば載せるが、載せる考えがないのならば、もう一人の方と同じように評価不能に入れる。</p>
渡辺会長	<p>折角出して頂いたので、出来るだけ統計には入れたいところだ。</p>
岡山委員	<p>評価出来かねるといっているのであれば、それも一つの評価だ。</p>
大江副会長	<p>時間がなかったなど別の理由で評価しないのであるならば、寧ろカウントしないほうが良い。あり得ることだ。</p>
岡山委員	<p>全員に戻して、文言等をチェックして貰って、自分のものを評価して欲しくないのであれば除くのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>委員の任期は今月末までなので、任期を越えて訂正をお願い出来るのであれば、皆さんが書かれたコメント欄をよく見て頂いて、表現を変えたいというのであれば変えても良いかと思う。</p>
大江副会長	<p>細かく読んでいるのは、事務局担当者だけなので、出した場合に気になる場所があれば、それを個別に指摘して了解を得るなどしていったほうが良いのではないかと。大部分の方は、出されて困ることはないと思う。ただ、書き損じ等はあるかも知れないので、そこは指摘して貰ったほうが良いのではないかと。</p>
小野ごみ対策課長	<p>それでは、気になる場所をご本人に連絡し、その場で確認して、それを以て全てを公表するということが良いか。</p>
大江副会長	<p>事務局というよりも、審議会です承して、審議会の責任で事務局にお願いしたということが良いのではないかと。</p>
渡辺会長	<p>それでは、そのようにしたい。</p>
富田減量推進係長	<p>確認をする方には、事務局から連絡するということが、自身でも気になる点があれば1週間後までに連絡を頂きたい。</p>
渡辺会長	<p>評価については、やったということの意義に関しては、皆さんに認めて頂けたと思う。方法に関しては、負担が大きかったので改善の余地がある。公表に関しては、先ほど決まったとおりのことになる。他に事務局から何かあるか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>任期满了となる委員の方々について、色々のご尽力いただき感謝申し上げます。また、来期も委員として携わって頂ける方への事務連絡だが、平成</p>

審議過程（主な発言等）

渡辺会長	<p>28年度第2回審議会は8月10日を予定しているので、予めご承知置き頂きたい。</p> <p>実施計画に盛り込んで頂いた小委員会の開催方法等については、本来は皆さんに諮って次期委員に伝えたかったが、本日は時間がないので、現会長・副会長に相談して決めさせていただきたい。</p> <p>2年間、拙い議事進行ではあったが、感謝申し上げます。それでは、これを以て今任期の審議会を終了する。</p>
------	---

以上